

令和5年度2月定例教育委員会議事録

【日時】

令和6年2月20日（火）

開会 午後1時15分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

9名

(辰野町教育委員会)

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

(事務局関係)

学校支援課長	小澤 靖一
学びの支援課長	福島 永
学校支援課長補佐	宮原 隆史
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

- (1) 【非公開】 準要保護（入学前支給）の認定について
- (2) 【非公開】 区域外就学の許可について
- (3) 【非公開】 就学の判断

2 協議

- (1) 【非公開】 学校運営上の諸課題
- (2) 【非公開】 教職員の人事異動（転出予定者）
- (3) 第1回辰野町立小・中学校あり方検討委員会を終えて
- (4) 卒業証書授与式、入学式における教育委員会の分担
 - ①卒業証書授与式、入学式における教育委員会の分担
 - ②卒業証書授与式
 - a 校長退任・異動に関わる教育委員会告示
 - b 卒業式における教育委員会告辞
 - c お別れの式における教育委員会告示
 - ③入学式
 - a 学校職員への校長着任に関わる教育委員会告示
 - b 始業式における校長着任に関わる教育委員会告示
 - c 入学式における教育委員会告辞
- (5) R5年度末からR6年度初めの日程
- (6) R6年度教育課程の方向
 - ①児童生徒数、学級数
 - ②教育課程
- (7) 教育に関する事務の管理及び執行の状況及び評価報告書
- (8) 6年度予算査定から教育委員会関係予算
- (9) その他

3 報告事項

- (1) 市町村教育委員会連絡協議会（1月）報告
- (2) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認

4 宮澤教育長挨拶

昨日の雨は、今年の冬の終わりを告げるかの様な気がしました。しかし、今週の末からまた雪という事で、寒暖差が大きくなってきていると思っております。お互い体には十分気をつけたいと思います。

さて、先週の金曜日に16日から昨日迄、町長の代理という事で台湾に行って参りました。台湾のど真ん中の町、埔里鎮（プーリーチン）。台湾では市の事を鎮（チン）と言います。丁度、私も5年前の2019年2月にも埔里鎮を訪れて鎮長（市長）と初めてお会いして、「日本のど真ん中」辰野町と「台湾のど真ん中」埔里鎮とで、友好提携と言うよりも、何かお互い仲良くできれば良いなといった話をして、コロナもありましたが、色々やり取りをする中で、これからは市と町で友好の証として埔里鎮の真ん中にある公園に桜の苗木を植える植樹祭をおこなって参りました。これからど真ん中同士で交流が始まっていく気がします。辰野町は人口1万8,000人を切った町ですが、埔里鎮は5年前行った時は8万人でしたが、この5年間で5,000人減少して、7万5,000人との事で、辰野町と比べると随分大きな町です。ここで植樹祭、それから辰野町で言うところの「ほたる祭り」と同じような「逐燈祭（ちくとうさい）」という2週間程続く長いお祭りですが、そのセレモニーにご招待頂きました。さらに、埔里鎮を含めた内陸の長野県の様な、南投県の観光協会の会長が招集をかけて、南投県の実力者、起業家達を集めた新年会にご招待頂きました。幅70cm程、長さ10m程の横断幕をご用意頂き、「日本 長野県辰野町」と書かれて大歓迎を受けました。日本で言うところの経団連の集まりの様な新年会でした。これを見た時に、今迄は辰野町の後ろに桜梅会と言う、日本の桜と台湾の梅から名前を取った1団体が、日本と台湾で何か交流ができればよいなという事で動いていましたが、今回、町長代理で行ってみて、熱烈歓迎を受け、これは桜梅会だけではなく、町が出ていかななくてはならないと思いました。もし、ほたる祭りに来ると言ったら、これは難しいなと思うくらいの歓迎を受けました。埔里鎮は九州の出水市と既に友好提携を結んでおります。辰野町と結ぶ事ができれば、埔里鎮にとっては2つ目の日本の自治体となります。辰野町

はニュージーランドのワイトモとも姉妹都市提携をしています。地球の裏側、南半球ですので、行くのに大変ですが、台湾であれば、ここからセントレアに行く時間と変わらずに行く事ができますので、また交流ができれば良いなと思っております。

只、台湾に行ってみますと、厳しい現実を突きつけられたなという感じがしました。植樹祭の際に、通訳の若い男性がいましたが、大学4年生で、この6月に卒業する様で、卒業すると兵役義務があって入隊せざるを得ないのです。4ヶ月間だそうです。ただ一言ボソッと淡々と言うのですが「国民は国を守る義務がありますから」と入隊する事を当然の事と話をしていました。「自分はまだ良い方で、次の年代からは1年間になる」と言っていて、これは中国との厳しい状況が反映されているのかなと思いました。そう考えると日本は平和ボケしてしまっているのかなという感じもします。ただ凄いのは、若者が元気である事です。晚餐会も植樹祭も逐燈祭も若者が仕切っていました。鎮長もその若者の指示に沿って動いている状況でした。また非常に多くのボランティアを集めておりました。ただ植樹するだけではなくて、埔里鎮の交響楽団が生演奏で音楽を演奏していました。その他の様々な裏方も若い方々がやっていて、ボランティアが支えてくれていました。こういった姿を見ると日本が忘れてしまった40年程前の未来志向の明日に向かって頑張るという姿は感じないなと思いました。厳しい現実ではありますが、社会の為、国の為という、自分達がやるのだというプラスのエネルギーを感じてきました。

それでは、今日は2月20日という事で卒業式まで登校日数を数えてみますと15日となりました。今日は1年間のまとめの関係、来年度に向けて、また卒業式、入学式の関係が入って参ります。その前に議事も御座います。よろしくお願い致します。

5 議事

(1) 【非公開】 準要保護（入学前支給）の認定について

- ・翠川学校教育係長より説明。承認。

(2) 【非公開】 区域外就学の許可について

- ・翠川学校教育係長より説明。承認。

(3) 【非公開】 就学の判断

- ・教育総務係中沢より説明。承認。

6 協議

(1) 【非公開】 学校運営上の諸課題

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』『2月校長会資料』を提示。

(2) 【非公開】教職員の人事異動（転出・転入予定者）

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『辰野町内小中学校 教職員人事異動名簿（県費）』を提示。

(3) 第1回辰野町立小・中学校あり方検討委員会を終えて

【宮澤教育長】

最後、委員長から話があった内容については、次回には改めて委員長に伝えたいと思いますが、「あり方検討委員会」は法律に乗っ取って協議する場ではなく、子どもが減っているのだけれども、どの様な学校で学ばせたいか、教育水準を維持しながら、こんな学びができれば良いな、こんな方法が考えられるのではないかという様な、自由な意見を述べていく。それを整理していくという、前回と同じような進め方をしていかないと、一般町民が集まっていますので、法律に乗っ取ってとなくなってしまうと意見も言えなくなってしまうので、そういった面は最後に教育委員会が検討していけば良い事なので、一般町民の意見を自由に出して頂き、それを事務局が論点整理していくのが、「あり方検討委員会」だと思いますので、そこまで委員長と詰めていなかったのも、そこは反省したいと思います。第2回、第3回はグループ討議をしていきたいと思っております。グループを入替ながら複数回行い、意見交換をしていきたいと思っております。

【B委員】

グループ討議は良いと思いました。一般の方は元町議の様な一般の様で一般ではない方がいらっしゃると、保護者代表の方は対等に話をするというのは立場的にも、知識的にも、思いはお持ちでも負けてしまうのではないかと思うので、どういった進行スタイルにするかによって、実際に子どもを今育てている保護者からの意見もどういった形であっても出る様にして頂きたいと思っております。

【C委員】

もっと色々な意見がでてくるのかと思っておりましたが、やはり最初でもあるので言いづらいのかと思っておりました。活発に意見が出てくると良いなと思っておりますし、どこかで私達の意見も述べられたら良いなと思っております。

【D委員】

つくば開成高校の校長先生からの話を聞いて、やはり聞かないと知らない事もあるので、色々な意見が出る事で、議論が深まっていけば良いなと思っております。

【C委員】

皆様が言われるように色々な意見を出して頂くのが、「あり方検討委員会」の本質であると思いますので、一番肝になってくる場所なので、それをワークショップ的な小さな規模で意見を出すのは非常に良いと思います。ただ、会場を見渡してみると、「あり方検討委員会」を構成するメンバーがちょっと薄いなと感じました。各小学校区の代表と言われる人達も毎度お馴染みの人達であったり、校長に頼まれて来たと言う人がいたり、その他にも基本的には宛職の人が殆どで、公募で来たという人が一番面白味があるのだらうと思います。また、年代層的に子育てが終わった人達も多く、委員のバリエーションとして寂しいなと思いました。そうした人達が来れば、良い意見が出るというのはまた別の問題ですが、こういっては何ですが、高校の先生や、保育園の先生達は何を話すのだらうと思ってしまいました。町の小学校・中学校の事に何か思いを持っているのかと思ってしまいました。ですので、子育てが終わった頃の世代の人に「こんな学校があったらよかった」の様な意見が出てきたら良いなと思いました。このメンバーだと出にくいのかという印象を持ちました。町議や元町議もいますので、これまでの流れを分かっているのしょうけれども、事務局に色々な資料を求めていましたが、そういった場ではないかと思いました。

【宮澤教育長】

人選で迷ったのは、各学校からの選出について前は各学校から、保護者代表と地域代表の2名を出してもらいましたが、今回は各学校1人にしてしまいました。学校から出てきた方の年代層に偏りが出るとは思っていなかったの、地域協議会や学校ボランティアの方が多くなった事は意外でした。グループ討議を重ねていけば色々な意見が出てくるとは思っています。

また、どうして高校を入れたかと言いますと、確かに辰高は県立だし、つくばは私立ですが、中学を卒業していった子供達を受け入れる側として、何が足りないかという分が高校側から出されるのではないかという期待から入れています。

【D委員】

今後は、グループ討議をした後、どの様に進めていく予定ですか。

【宮澤教育長】

グループ討議で出た意見を踏まえて、論点整理をします。それを出してもう一度、やります。整理していきながら同じ事を繰り返しやる。それ以降はどうやってレールを引いていくかは、中身を見てみないと分からないので、臨機応変にやっていく必要があると思います。ある程度、幾つか資料がでてきたところで先進地を見に行く事が出てくると思います。

【E委員】

色々な組織や団体、お年寄り、保育園の園児等の力を借りながら、交流できるような場があって、関りができれば良いと思います。以前、小澤課長からお聞きしましたが、学校施設の改築で国庫補助金を受けてやっていると、10年以内に違う目的で施設を使うと返金しなくてはいけないという事を考えると、3つの学校はあった方が良いでしょう。高学年は中学校に、小さい子達は道草しながら歩いて学校に通うという事は大事ではないかと思えますし、義務教育学校を作って分校を3つ作るという様な形にして施設でお年寄りと関わったり、園児と関わったりという事が日常茶飯事にできるというような事を考えたりします。

【宮澤教育長】

そういった意見が出てきて欲しいと思っております。そんな学校ができるのかと思うような意見が欲しいです。そうした中にヒントがあると思っております。私は中学校が3年間ではなくて、4年でも良いと思えますし、小学校6年間、中学校3年間に拘らなくても良いと思えます。義務教育学校でやれば自由にできるとも思えます。

【F委員】

この間の、県の市町村教委連絡協議会で、近藤会長が「今の教育はちょっと行き詰っている。何故ここまで変化が無いのか」とお話されていて、まさにそれと似たものかと思えます。どこか上が決めてしまえば、その通りというところがあります。教育長がこの前の校長会で授業日数に触れていましたが、授業日数を増やしたって良いのではないかと思います。そういう発想を学校は持てない。周りがその通りやるとなれば、そのまま受け入れて、1日の違い程度になっていない。自分達で必要とあれば増やしても良いのではないかと思います。その辺のところをがちがちにしないで、宮澤教育長が言うように、自由な発想で学校を考える必要があるのではないかと思います。

【G委員】

あと一点、教育長が言われている結論が出された後、地域との取り合いが必ず出てくと思いますが、私は「あり方検討委員会」の内容もそうですが、もう一方の地域のあり方を非常に心配してしまして、区の会議に行きましたが、津島祇園祭の実行委員会でしたが、旧平出地区の理事で実行委員会の構成委員で、どうするかという話が出て、どういう形であれ、やるという結論を出したのですが、それも考え方によっては存続の危機もありました。平出で言えば教育長が山際の雪かきの話をして頂いたのですが、平出は区長の号令で雪かきをしません。各町内の総代の指示でやる事になっているので、下町は綺麗にアスファルトが見えていますが、別の地区に行くとはぼこぼこ

という状態が、ここ何年か続いています。こんな事では駄目だと言う意見がある一方で、合理化を言う人もいます。その辺のところは非常に厳しい状態なので、1つはこの教育委員会の中でという事と言えば、分館がありますが、この間、福島課長と話をした事がありました。再編をして身軽になって活動しやすいようにするという事もそろそろ考えていかなくてはいけないと思います。地域の活性化もそうですし、もし辰野町で公立学校ができるとなれば、辰野町全体で地域性がどうなってしまうのかという事もあると思います。それはやはり皆考えていかなくてはいけないと思いますし、例えば越境して全体で公民館講座をやって地域をつくっていくというのものもあるかもしれないです。一例を言うと、子育て支援マスターが公民館講座で30年程おちゃめクラブをやっているのですが、今、平出の子育て支援協議会のメンバーがその30年程前の子どもです。おちゃめクラブに来ていた子どもが親になって、非常に協力的にやってくれているとの事で、やはりその様なところで繋がっていくという事を仕掛けていかないと、学校の良いあり方を出しても、地域が頼りないとなってしまうような危機感もあります。「あり方検討委員会」と同時で2年位で、ある程度、コロナ前の水準を戻す様な事をしないと、噛み合わないのではないかと非常に心配しています。

【H委員】

私は、川島小の学校日誌を読んでいるのですが、昭和32年辺りを見てきたのですが、丁度、川島中学校というのが併設されていまして。小学校と中学校が併設されていて、地区の生徒会が「部落生徒会」となっていて、中学生と小学生が一緒になって地区の児童会をやっていました。それも1つ、とても大事な事だだと思います。今は東小以外の殆どの地域は別にやっているとありますが、またそうした形になれば、また行動力が上がって、中学生が中心になって進められれば、良いものになっていくのではないかと思います。当時は、小中が一緒なので、運動会や音楽会も一緒にやっていた様です。例えば義務教育学校になったとしても、分校みたいに地域にあったとしても、早めに半日で下校して、地域の学校に行ってお話し合いをするだとか、その様な事をしていければ良いのかなと思ったりします。

【宮澤教育長】

辰野町にとって学校再編は、これが最後だと思いますので、本当に色々な意見を出しながら整理していかなくてはならないと思っております。いずれにしても部活の地域移行等もありますので、余計に地域との事は大事にしていかななくてはならないと考えております。

(4) 卒業証書授与式、入学式関係

- ・宮澤教育長より説明。

- ・資料として『町内小・中学校における卒業式・入学式の開始時刻および出席者一覧』『校長退任および新校長着任に関わる教育委員の動き』を提示。
 - ・各校の担当と告辞内容を確認。
 - ・校長退任、新任校長着任に関わる教育委員の動きを確認。
- ① 卒業証書授与式、入学式における教育委員会の分担
 - ② 卒業証書授与式
 - a 校長退任・異動に関わる教育委員会告示
 - b 卒業式における教育委員会告辞
 - c お別れの式における教育委員会告示
 - ③ 入学式
 - a 学校職員への校長着任に関わる教育委員会告示
 - b 始業式における校長着任に関わる教育委員会告示
 - c 入学式における教育委員会告辞

【I 委員】

昨年の卒業式に、「教育委員会告辞」という流れで来ていたのが、「教育委員挨拶」になっていて、たまたま前日にリハーサルさせて頂いたので、順番も真ん中あたりになっていて、前日に気が付いたので、「告辞」に改めて、最初の方にして頂くようお願いさせて頂きましたが、当日は「挨拶」になっていましたが、「告辞」で通してしまいました、「告辞」とするよう徹底しておいて頂きたいと思います。

【宮澤教育長】

明日、教頭会がありますので、伝えておきたいと思います。

(5) 令和5年度末から令和6年度初めの日程

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「令和5年度末・6年度初めの教育委員会関係日程」を提示。

(6) 令和6年度教育課程の方向

- ・宮澤教育長より説明。
 - ・資料として「令和6年度 学級編制と加配等」「辰野町内小中学校 令和6年度教育課程の方向」を提示。
- ① 児童生徒数
 - ② 教育課程
 - ・町教育委員会が掲げる学校目標をグランドデザインに位置付け、その上で各学校の教育目標を校長の思いも踏まえて決めていく。

- ・川島小…最後の年という事で、単元内自由進度学習に挑戦していく。食育の推進。全校活動で一つの物を作り上げる。閉校記念事業で全校が地域と共に主体的に活動に取り組む。
- ・辰野西小…「誰もが認められる楽しい学校」、校内研究の重点「意欲」「追及」「定着」、学校行事・日課等で工夫・改善を図る。辰野中学校での朝部活廃止に伴い、校舎を開ける時間を10分遅らせる。
- ・辰野東小…「探求を楽しむ授業の構想」を研究の重点とする。
- ・辰野南小…人との関わり、ふれあい、コミュニケーションの場を一層大切にする。
- ・辰野中…研究の重点として、生徒主体の取り組みを増やしていく。「問いから問いにつながる授業」～明日も学びたくなる授業づくりを目指して～を全校研究テーマとして設定。制服の見直しを進めていく。

【J委員】

川島小と西小が交流をしていくとの事ですが、他校との交流をするという予定はありませんでしょうか。

【宮澤教育長】

やっぴいかなくはならないと思います。今いる子ども達は西小と交流していても、誰も西小に行かない事も考えられます。保護者でも他の学校を見たいという事もあると思いますので、考えております。

(7) 教育に関する事務の管理及び執行の状況及び評価報告書

- ・小澤学校支援課長より説明。
- ・資料として「令和4年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を提示。
- ・辰野町第6次総合計画前期基本計画の主要施策に挙げた事務事業を対象に評価。
- ・3月の町本議会で報告予定。

(8) 6年度予算査定から教育委員会関係予算

- ・小澤学校支援課長、福島学びの支援課長より説明。
- ・資料として「令和6年度主要事業一覧」を提示。

(9) その他

なし

7 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会（1月）報告

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『1月市町村教育委員会連絡協議会（報告）』を提示。

(2) その他

なし

8 閉会